



ナウキャストと短時間予報に関する 世界天気研究計画 (WWRP) 国際シンポジウムのご案内

「ナウキャストと短時間予報に関する国際シンポジウム」は、世界天気研究計画 (WWRP) が企画し、フランス気象局が主催するものです。本シンポジウムは、フランス気象局と欧州気象衛星機構の資金提供を受け、米国気象学会、王立気象学会、欧州気象学会、フランス気象学会の後援を受けています。本シンポジウムは、ツールーズのフランス気象局にて、2005年9月5日から9日に開催されます。

本シンポジウムの目的は、目先0-6時間の期間における気象予報精度の改善に対する可能性、機会および要望を検討することです。特に重点とするのは、夏季の対流性現象による災害(大雨、雹、落雷、突風)、冬季の気象災害(吹雪、暴風雪など)、その他の被害をもたらす気象状況(霧など)のような社会的影響の大きな気象の予報です。目先0-6時間は、伝統的なナウキャスト技術と数値予報の両者が共に有用な情報に貢献している期間であることが知られておりますので、本シンポジウムではその両方の手法およびナウキャストと数値予報を組み合わせる手法を対象とします。交通運輸産業、危機管理サービス、水理水文分野、農業、建設業、観光業、エネルギー産業、大気汚染監視、安全保障における予報利用者のニーズについても、特に重点が置かれます。現業的または試験的な予報システム、あるいはそのようなシステムを開発するための試行実験 (Testbed) についての発表も奨励します。本シンポジ

ウムでは、現状の知識における不十分な点を抽出し、集中観測等の実施の機会および将来取り組むべき鍵となる領域を定めて、結論とします。

ナウキャストと短時間予報の全ての領域に関する論文を募集します。特に、次に述べるセッションへの論文投稿を奨励します。(1) 短時間予報を改善するための観測へのニーズ (2) ナウキャスト技術 (3) 高分解能数値予報 (4) 0-6時間におけるメソスケールの力学過程に関する基礎的な理解 (5) データ同化 (6) 現業的システムと人間の役割 (7) 評価手法と結果 (8) 応用 (9) 社会的効果と利用者のニーズ

期 日：2005年9月5日～9日

開催地：フランス気象局 (ツールーズ)

アブストラクト提出：2005年4月1日を期限とします。参加者は、Web (<http://www.meteo.fr/cic/wsn05/>) からアブストラクトの提出と参加申し込みが可能です。さらに詳しい案内の必要な方は、wsn05@meteo.fr 宛メールして下さい。

問い合わせ先：

気象庁予報部数値予報課 山田眞吾

Tel : 03-3212-8341 (ext.3320)

E-mail : shingo.yamada@met.kishou.go.jp